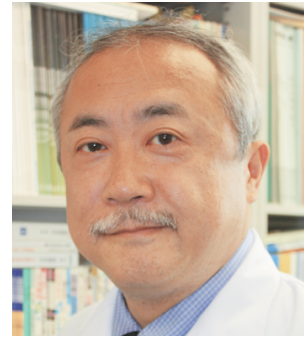


◆ Professor に聞きました



鈴木 眞一

福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座
同附属病院甲状腺内分泌外科

略 歴

- 1983年3月 福島県立医科大学医学部医学科終了
- 1983年5月 福島県立医科大学第二外科 副手
- 2001年4月 米国カリフォルニア州サンディエ Burnham 研究所 客員研究員
- 2002年5月 福島県立医科大学第二外科 講師
- 2008年4月 同附属病院教授および乳腺・内分泌・甲状腺外科部長
- 2010年6月 同医学部器官制御外科学講座教授
- 2011年3月 福島県災害医療調整医監
- 2012年6月 福島医大放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査部門 部門長
日本内分泌外科学会理事長
- 2013年3月 福島県立医科大学医学部 甲状腺・内分泌学講座 主任教授
- 2013年4月 同附属病院 甲状腺・内分泌外科部長

内分泌外科領域のアピールポイント

甲状腺、副甲状腺、副腎を中心に分子生物学的診断、エラストグラフィなどの超音波診断、ナビゲーションおよび内視鏡手術などの低侵襲手術から拡大手術まで担当します。
またNET（胸腺、膵・消化管神経内分泌腫瘍）も含めたMENの診断治療や未分化癌についてもコンソールシウムおよびガイドラインなど多岐にわたり関わっております。

今回の“Meet the Professor”でお話しされたいこと

甲状腺内分泌学の重要性と将来の展望とくに今後の内分泌外科医の将来性について、そして福島での小児甲状腺超音波健診など震災後の甲状腺内分泌学の役割等についても話しましょう。

趣 味